

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	多自然川づくりの推進			
担当	建設局下水道河川部河川計画課 松田 818-3414						
全 体 計 画							
事業内容	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境及び多様な河川景観を保全・創出する多自然川づくりを行う。 ○札幌市河川環境基本計画 今後の環境整備の指針となる計画を、18年度の「さっぽろ地域川づくり座談会」でまとめられた提言を基に、パブリックコメントなどにより市民意見を取り入れ、策定する。 ○多自然川づくり 22年度までに優先的に整備する吉田川、西野川、藤野沢川において、市民参加型の手法を取り入れ、多自然川づくりを行う。		<年度別の事業内容>				
			19年度 札幌市河川環境基本計画の検討 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川) 20年度 札幌市河川環境基本計画の策定 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川) 21年度 多自然川づくり(西野川、藤野沢川) 22年度 多自然川づくり(西野川、藤野沢川)				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	○札幌市河川環境基本計画 ・有識者による検討会開催(4回) ○多自然川づくり 吉田川 ・現地見学会及び意見交換会の実施 ・吉田川環境整備計画の策定 西野川 L=0.05km ・河道整備 藤野沢川 ・散策路(管理用通路)整備		○札幌市河川環境基本計画 ・有識者による検討会開催 ・パブリックコメント、シンポジウムの実施 ・札幌市河川環境基本計画策定 ○多自然川づくり 吉田川 L=0.16km ・親水施設(広場、散策路など)整備 西野川 L=0.15km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備 藤野沢川 L=0.07km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備				
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
多自然川づくり整備延長		4.7km	4.8km	5.1km	5.3km	5.5km	5.5km
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 札幌市河川環境基本計画の策定に向けた検討会を公開で開催するとともに、その結果をインターネットホームページやニュースレターで公開していることから、計画への市民意見の反映が期待できる。また、吉田川では現地見学会や意見交換会を行い、市民意見を取り入れた環境整備計画を策定したことから、整備後の河川環境に対する意識の高まりが期待できる。 ■企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 検討会の傍聴や、現地見学会、意見交換会の参加については、インターネットホームページや地域の回覧板を用いて広く周知するなど、誰もが参加しやすいしくみとなっている。							

[20年度]